

ヒューマンウェアイノベーション博士課程プログラム  
平成 29 年度第五回企画運営委員会議事概要 (案)

【日時】 2017 年 10 月 5 日 (木) 12 時 00 分から 13 時 20 分

【場所】 情報科学 C 棟 401 室

【出席 (敬称略)】 清水 (委員長・情)、尾上 (情)、藤原 (情)、井上 (情)、谷田 (情)  
若宮 (情)、松下 (情)、原 (情)、難波 (生)、平岡 (生)、藤田 (生)  
松岡 (サイバー)、細田一 (情)、石井 (生)、中村 (基)、中野 (生) EUM (情)  
楊 (情)

[事務部] 松岡 (情/事務長)、鐘ヶ江 (情/大学院係長)、徳野 (情/部門事務局長)

岡本 (情/部門事務)、井汲 (情/部門事務)、森田 (生/部門事務)、上田 (情/部門事務)

【欠席 (敬称略)】 増澤 (情)、村田 (情)、大澤 (生)、八木健 (生) 柳田 (生)

近藤 (生)、細田耕 (基)、石黒 (基)、宮崎 (基)

[事務部] 古市 (情/部門事務)

### 配布資料

HWIP ホームページ教員用ページにアップします。(パスワード: HWinnovation)

### 議題

(1) 教務委員会 (資料あり)

- 教務活動の進捗について説明があった。
  - ① 2 学期から始まる創出論についてアナウンスがあった。
- 審査など
  - ① 中間審査について  
資料に基づき説明があった。
  - ② 最終試験について  
資料に基づき第一期生の調査結果について説明があった。
  - ③ 早期修了 (9 月) について  
資料に基づき修了要件の確認を行った。

(2) リーディング大学院選抜委員会 (資料なし)

- 学生向け入試説明会を 12 月 21 日 (木) 開催することが決まった旨、及び豊中地区はテレビ会議システムを利用して行う旨の報告があった。

(3) 海外連携委員会（資料あり）

○現時点での今年度海外派遣状況について報告があった。

○北米研修について

- ①ラスベガスの事件に関連して、現時点では計画の変更の予定はない旨の発言があった。
- ②応募者を絞り込んだこと、また絞込みに際しては予算と引率教員数から勘案した安全確保の面を考慮した旨の発言があった。

(4) 産学官連携委員会（資料あり）

○インターンシップの実施状況とイノベーション実践演習の実施に関する現状について報告があった。

(5) 広報企画委員会（資料なし）

○本年度、教員向け説明会を行うかどうかについての意見交換の結果、去年度に倣った方法で実施することとなった。

なお、生命機能研究科については藤田教授と調整することとした。

(6) その他

① 事後評価に係る履修生・非履修生・教員アンケートについて

（細田一特任准教授 資料あり）

- ・アンケートの3つの狙いについて説明があった。
- ・客観性を担保するために、コンサルティング会社に委託する旨の発言があった。
- ・細田准教授から、履修生、被履修生、教員に対してアンケート実施の周知及び協力依頼を行った後はコンサルタント会社が実際の業務を行う。
- ・10月中旬を目途にアンケートを実施する予定にしているため、気付いた点を清水教授、細田准教授に今週中に連絡することとした。

② 卓越大学院構想の第二次エントリーについて（清水教授 資料あり）

次のとおり説明があった。

- ① 情報科学研究科を主幹部局として9月29日にエントリーシートを提出した。（関係部局には連絡済み）
- ② リーディングプログラムで重要視していたものは取り込んでいる。
- ③ 募集要項がもうすぐ公表される。また、リーディングフォーラム時に説明会が開催される。
- ④ 本プログラムは事後評価が終わってからのエントリーとなる。
- ⑤ 10年のプログラムになる。

③ 国際アドバイザー委員会について（清水教授 資料なし）

委員には、1月23日（火）の公開研究発表会を見ていただき、翌日の24日（水）午前中に委員会を開催することとした。

また、本プログラムの関係教員に対して日程調整の依頼があった。

④ 予算について（清水教授 資料なし）

当初から、少し余裕をもって配分していたところがあり、2学期の早い時期に残予算を確認し、用途を決めることとする。

気づいた点があれば、清水教授に連絡することとした。

⑤ 英語教育について（オム特任准教授 資料あり）

資料に基づき種々報告があった。

⑥ 修了について（清水教授 資料あり（取扱注意））

初めに申し合わせ（案）の詳細な説明があった後、原則として7つの修了要件を満たすものを修了と判定することを確認した。要件を満たすための期限は原則として公開研究発表会までとすることとした。次に、7要件のうち1)、2)、7)について種々意見交換の結果、次のとおりとすることにした。

- ・ 1) は可能な限り必須とし、1) の要件が満たされていれば、2)、7) の要件は必ずしも必要とはしない。

この場合、審査委員会は本条件に基づいての修了判定について1-7) の要件を満たす能力を有するかどうかを評価し、修了を決定する。

責任を負うものとする。

次に修了要件のうち、1)、2)を除く他の要件を満たした上でのコースワーク修了について種々意見交換の結果、所属研究科で学位論文の提出のないケースで公開研究発表会を行った場合は、学位論文の提出があった際にコンプリートできるものと考え、また、2)または7)の要件が満たされていない場合は上記に準ずるものとして、次のとおりとすることとした。

- ・ コースワークと学位論文は別と考え、コースワークの修了のみを認定する。

なお、本申し合わせは履修生には周知しないこととし、教員へは次のとおりアナウンスして個別に対応することとした。

- ・ 7つの修了要件が満たされない履修生がいる場合は、是非 HWIP 教務委員長までご相談ください。

本年度は1月23日に公開研究発表会、3月1日に最終審査委員会を開催する。

次回 : 11 月 2 日(木) 12:00-13:00 情報科学研究科 C 棟 4 階 C401